

令和5年度西宮市子供読書活動関係事業一覧表

1 家庭における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度実績	
					取組内容	進捗状況・評価等
1	蔵書の充実・ブックリストの配布	各施設が、蔵書の充実に努めるとともに、「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)や「絵本のゆりかご」、「絵本のポケット」などのブックリストを作成し、絵本の紹介を行う。	乳幼児	保育所	・保育所だよりや掲示等で、年齢に応じた絵本の紹介等をする。 ・「読んでごらんおもしろいよ」を掲示し、紹介	・各保育所で実施
				幼稚園	・「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)の配布 ・ブックリストに掲載されている絵本の購入	・「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)の配布 ・ブックリストに掲載されている絵本の購入
				子育て総合センター	・「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」の配布	・親子サロン内の見やすい場所に掲示し、利用者に情報提供した。 ・絵本の購入 25冊
				読書振興課	・図書館振興基金を活用して蔵書の充実を図る。 ・劣化資料の買い替え加速 ・ブックリスト配布 「絵本のゆりかご」(0歳児～) 「絵本のポケット」(乳幼児向け) 「読んでごらんおもしろいよ(幼児版)」	・図書館振興基金を活用して、絵本、大型絵本、紙芝居等を購入：633点、1,485千円 ・児童書買い換え・買い足し：4517点、5,079千円 ・ブックリスト配布 「読んでごらんおもしろいよ(幼児版)」 ・配布部数：12,000部(市内幼稚園、保育園に配布) 「絵本のゆりかご」(0歳児～)、「絵本のポケット」(乳幼児向け)：各図書館・分室に設置・配布
				児童館・児童センター	—	—
2	絵本の貸出	各施設が絵本の貸出を行い、家庭で本を通じて親子がふれあい、読書を楽しむ時間を持つことができるようにする。	乳幼児	保育所	・絵本の貸出を行い家庭で親子が触れ合いながら、絵本に親しむ時間をもてるようにする。	・各保育所で実施
				幼稚園	・週1～2冊ずつ絵本の貸出 ・長期休業日前は貸出冊数を増冊	・毎週定期的に貸出(長期休業前は増冊)
				児童館・児童センター	・移動児童館で絵本の貸出	・移動児童館活動時に、希望者に絵本の貸し出しを行った。 貸出組数：351組、貸出冊数：663冊
				読書振興課	・ブックフェアの開催 ・乳幼児とその保護者へのおはなし会の開催 ・「絵本のゆりかご」(0歳児～)、「絵本のポケット」(乳幼児向け)配布	ブックフェアの開催：66回 内容事例：「どんな本がはいているかな？ハッピーバッグ」等 ・乳幼児向けおはなし会の開催 142回、1659人
				子育て総合センター	—	—
3	子育て総合センターにおける絵本の読み聞かせ	毎週木曜日に読み聞かせの会を実施する。また、親子サロンスタッフが、個々の親子の状況に合わせて1対1で読み聞かせることの大切さを啓発し、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行う。	乳幼児	子育て総合センター	・毎月第1～4木曜日に子育て総合センターにおいて、ボランティアが絵本の読み聞かせを行う。 また、第5木曜日には、親子サロンスタッフが個々の親子の状況に合わせて1対1で読み聞かせることの大切さを啓発し、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行う予定であるが、新型コロナウイルス感染拡大の状況により開催を検討する。	・10月から毎月第3木曜日に子育て総合センターにおいて、ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施：6回、128人 ・親子サロンで実施しているリズムタイムにおいて、親子サロンスタッフが読み聞かせをしたり、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行った。また、親子でいっしょに絵本に親しみ、楽しさを共有することの大切さを啓発した。

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度実績	
					取組内容	進捗状況・評価等
4	ブックスタート関連事業	乳児相談でのボランティアによる読み聞かせの実施や、4か月児健康診査時にブックリスト「絵本のゆりかご」の配布による絵本の紹介を行い、家庭で親子がふれあい絵本に親しむきっかけとする。また、一緒に来た兄弟姉妹に対しても読書活動を促す機会とする。	乳幼児	読書振興課 地域保健課	・4か月児健康診査時に「絵本のゆりかご」を配布 ・NPOブックスタートを活用した「ブックスタート事業」の実施を検討する。	・4か月児健康診査時に「絵本のゆりかご」を配布
5	体験保育	親子が保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通じて、家庭でも絵本に親しめるようにする。	乳幼児	保育所	・絵本の読み聞かせを行う。 ・年齢に応じた絵本の選び方を伝える。	・親子で読み聞かせに参加してもらった。 ・年齢に応じた絵本の選び方や、実際の絵本を紹介したり、触れ親しんでもらう機会を持った。
6	広報紙の発行	保育所だよりや幼稚園だより、市立図書館の児童向け広報紙「しゃぼん玉」など、各施設で広報紙やちらしを発行し、情報発信に努める。	乳幼児	保育所	・保育所だよりの作成、配布し絵本に興味をもてるよう情報発信に努める。	・子供の年齢や興味にあった絵本を保育所だよりで紹介し啓発に努めた
				幼稚園	・園だより、クラスだより、絵本だよりを発行し、絵本の紹介を行う。 ・図書館広報紙「しゃぼん玉」などの掲示	・園だより、クラスだよりによる絵本の紹介 ・図書館広報紙「しゃぼん玉」などの掲示
				子育て総合センター	・子育てカレンダー（読み聞かせイベントなど）の発行	・毎月発行する子育てカレンダーに、絵本の読み聞かせなどのイベント情報や絵本室の開放情報を掲載し、絵本に興味をもてるようにした。
				読書振興課	・広報紙等の作成・配布 「しゃぼん玉」（児童向け広報紙） おはなし会チラシ 行事チラシ	・広報紙等の発行部数 「しゃぼん玉」4,672部 図書館・分室で配布 ・おはなし会及び行事チラシ：おはなし会などの行事開催時に来館者や近隣施設へ配布 ・地域情報誌での広報：「宮っ子」「まみたん阪神版」「ともも（なるおっこしんぶん）」
				児童館・児童センター	・児童館だより（読み聞かせイベントなど）の発行	各児童館・児童センターで毎月児童館だより（読み聞かせイベントなど）を発行し、近隣小学校や施設等に配布。
7	保護者になる人への絵本の読み聞かせ	保護者になる人に対して、妊娠期から絵本の読み聞かせを行う。親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に適した絵本の紹介、読み聞かせの実演などを通して、子供とのコミュニケーションの大切さなどを伝える。	家庭など	地域学校協働課 地域保健課	・マザークラスに参加の妊婦に対して、教室の最後に絵本の読み聞かせの実演、親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に適した絵本を紹介	・令和5年度は16回実施。 NPO法人「絵本で子育て」センターに講師依頼をし、「絵本の読み聞かせ講座」を実施しており、絵本の読み聞かせの実演、親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に適した絵本を紹介

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度実績	
					取組内容	進捗状況・評価等
8	読書習慣のない家庭の読書活動	本に興味がない、又は、読書に時間を割けない家庭への働きかけや読書の習慣化の方策などについて検討する。	家庭など	教育研修課 特別支援教育課	・ボランティアによる読み聞かせや親子読書会などを実施し、読書活動を支援する。	・長期休暇に特別貸し出しで、多数の本を貸し出した。 ・各校において、ボランティアにより読み聞かせの実施
				保育所事業課	・窓口にポスターを掲示し、情報発信に努める。	・窓口に子ども読書の日のポスターを掲示し情報発信に努めた。
				地域保健課	・乳幼児健康診査の待合場所での絵本の設置は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため必要な幼児にのみ職員から手渡す。、見合わせる。絵本の設置の仕方は今後の状況に応じて検討する。	健康診査の待合場所での絵本の設置はせず、必要な幼児にのみ職員から手渡した。 ・R5年度の幼児健康診査実施回数 1歳6か月児健康診査 96 回 3歳児健康診査 96 回
				読書振興課	・関係機関と連携して、図書の管理換えや読み聞かせなどを通じ本に親しむ機会を提供する。 ・家庭での絵本の読み聞かせに関するNTTとの共同研究を継続	・西宮スポーツセンターと連携し以下の事業を実施した。 ア 出張おはなし会 17回(参加人数:239人) イ 出張貸出 7回 ・絵本検索システム「びたりえ」「びたりえタッチ」を3図書館に設置。(中央図書館、鳴尾図書館、北口図書館)・R5年10月1日まで
				子育て総合センター	・各児童館には図書室があり、多くの児童が利用しているほか、図書ボランティアによる絵本の読み聞かせも行っている。また、図書の貸し出しも行っており、家庭での読書振興にも寄与している。	ボランティアや児童館職員による絵本の読み聞かせを実施した。
9	広報活動	家庭教育ニュースレター「家族の絆」などで本を紹介する。また、その他の広報媒体や広報内容を検討し、積極的に本の紹介を行う。	家庭など	地域学校協働課	・家庭教育ニュースレター「家族の絆」の発行・配布	・広報紙等の発行部数63,000部を2回(計126,000部)家庭教育ニュースレター「家族の絆Vol.66」紙面において、体験活動を通じて育まれるコミュニケーション能力の重要性や自己肯定感の大切さについて触れるとともに、これらのテーマに則した書籍を紹介した。
				教育研修課	・ボランティアによる読み聞かせや親子読書会などの活動をプリントで配布・案内を行う。	・各校において、ボランティアによる読み聞かせの実施
				特別支援教育課		・積極的な取り組みには至らなかった。
				地域保健課	・4か月児健康診査で「絵本のゆりかご」を配布 ・各保健福祉センターで「絵本のある子育て」(子どもの本の児童館グループ発行)を設置	・4か月児健康診査受診時に、「絵本のゆりかご」を配布。(R5年度) 4か月児健康診査受診者数 3,301人
				読書振興課	・各種広報紙の発行「しゃぼん玉」 ・「家族の絆」への寄稿 ・さくらFMでの告知 ・地域コミュニティ誌への掲載	・家庭教育ニュースレター「家族の絆」に本の紹介記事を寄稿:年2回 ・さくらFM「聞いてなるほど!西宮市政」に出演し、図書館の子供向け事業及び子供向けサービスを紹介 ・その他1-6に既出
				保育所事業課 子育て総合センター	—	—

2 学校園・保育所等における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
1	学校園・保育所等における読み聞かせ口	教諭、保育士、保護者、ボランティア等が教室・保育室などで読み聞かせを行う。	乳幼児 小中学生	保育所	・保育士等が保育時間内において、日常的に読み聞かせを行う。	・日常的に実施し絵本に親しめるようにする
				幼稚園	・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)より講師を派遣し、幼児児童生徒を対象に読み聞かせ等を行う。 ・小・中・義務教育学校では、学校司書による読み聞かせを行う。	・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)による講師派遣回数:6回
				小中義務教育学校		
				特別支援学校		
				読書振興課	・学校司書、学校図書館ボランティア対象の読み聞かせ講座の開催 ・児童館等子育て関連施設での読み聞かせ講座の開催	・PTA対象読み聞かせ講座:1回
2	「読んでごらんおもしろいよ」の配布	ブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」を学校と市立図書館が連携して作成し、幼児及び児童・生徒の読書の手引きとして活用する。	乳幼児 小中学生	幼稚園	・「読んでごらんおもしろいよ」の配布 ・小・中・義務・市立西宮養護学校の学校図書館で選定図書展览展示 ・市立図書館で選定図書の展示 ・GIGA端末を活用したブックリスト提供の検討(冊子と併用)	・「読んでごらんおもしろいよ」発行部数:41,000部 選定会議:延べ16回 選定委員:26名 図書館司書と教師で構成 ・市内4図書館で選定図書の巡回展示を開催
				小中義務教育学校		
				特別支援学校		
				読書振興課		
3	学習指導要領に基づいた読書教育口	各校の学校図書館運営計画を作成し、「いずみ」に掲載して取り組み内容の情報共有を図る。	小中学生	小中義務教育学校	・学校図書館経営計画の作成	・学校図書館経営計画を作成し提出
				特別支援学校		
				教育研修課	・各校から提出された「学校図書館経営計画」をいずみに掲載	・「いずみ」に掲載済み
4	外国語教育	小学校での英語教育が教科化されることから、英語で書かれた図書の整備に努める。	小中学生	小中学校	・英語で書かれた絵本や物語を整備	・英語で書かれた絵本や物語などを、各校の実態に応じて整備した
				特別支援学校		
				教育研修課		

	事業名	事業内容	対象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
5	学校図書館機能の充実口	学校図書館教育担当者(司書教諭等)を中心に、関係者が連携して、学校図書館機能の充実に努める。 また、「西宮市小学校図書館の学習基本図書」や市立図書館作成のブックリストなどを参考に図書の充実を図る。	小中学生	小中義務教育学校	・小・中教研(図書館教育研究会)を組織、実践交流や研修会を開催 ・学校図書館担当者会への参加 ・学校図書館ボランティアの活用による開館	・小教研開催回数 5回 ・中教研開催回数 7回 ・学校図書館教育担当者兼学校司書研修会への参加(5月)
				特別支援学校		
				教育研修課	・小・中教研への参加 ・学校図書館担当者や学校司書研修会の開催	・小・中教研への参加。 ・第1回学校司書研修会:4月5日 ・学校図書館担当者兼学校司書研修会の開催(5月9日) ・第3回学校司書研修会(8月29日)
				読書振興課	・市立図書館司書が学校図書館を訪問し、司書教諭、学校司書を対象に学校図書館業務(蔵書管理・調べ学習・読書相談等)を支援する。	・学校訪問 1回(蔵書管理について相談)
6	相互貸借	各校で西宮市学校図書システム(探調COMMU)によるネットワークを活用し、相互貸借することで各校蔵書の有効活用を図る。 また、市立図書館と連携し、テーマに沿ったセット本の公用貸出の利用を進める。	小中学生	小中義務教育学校	・学校図書システム(LB@SCHOOL)により、学校間相互貸借を利用する。 ・市立図書館の公用貸出を利用する。	・学校図書システム(LB@SCHOOL)により、学校間相互貸借を利用 ※2学期からは探調COMMUを利用 ・市立図書館の公用貸出を利用する。
				特別支援学校		
				教育研修課	・学校間の相互貸借一覧表を作成し、配送依頼をする ・公用貸出票の集約、配送車手配による支援	・学校間の相互貸借一覧表を作成し、配送依頼
				読書振興課	・学校図書館司書研修会で市立図書館の公用貸出について説明し、利用促進を図る。	・学校図書館教育担当者兼学校司書研修会に出席し、公用貸出等について説明した。 ・公用貸出:164件、3,940冊
7	読書感想文コンクール等の開催口	読書感想文コンクール・読書感想文コンクール・読書会を継続し、本を読むことで養われる感性や、感動を人と共有する機会を提供する。	小中学生	小中義務教育学校	・小学校では各学年1点の作品を、中学校では校内の読書感想文コンクールにおいて、代表を各校4点まで選び、市の読書感想文コンクールに出品。 ・読書感想文コンクールでは、読書による感動を絵で表現させる。	【読書感想文コンクール応募作品数】 小:41校、240点(課題:61点、自由179点) 中:20校、78点(課題:23点、自由55点) 【読書感想文画コンクール応募総数】 小:16校、2,274点 中:10校、32点
				特別支援学校		
				教育研修課		
8	「読書の達人認定証」の発行	児童の読書意欲を高めるため、読書冊数に応じて認定証を発行する。	小学生	小学校	「みやっこ読書手帳」の配布	・「みやっこ読書手帳」を配布
9	特別支援教育に係る図書の充実口	学校園において、障害などの理解・啓発に関する図書を充実させる。	小中学生	小中義務教育学校	障害などの理解・啓発に関する図書を配備	・各校の状況に応じて障害などの理解・啓発に関する図書を配備
				特別支援学校		
				教育研修課		
				特別支援教育課		

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
10	障害に応じた設備や資料の充実	障害の状態に応じた合理的配慮が行えるよう設備や読書環境を整えとともに、障害のある子供に配慮された図書の実装を図る。 また、市立西宮支援学校の特別支援教育のセンター的機能を充実させ、点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料を収集し活用方法を発信する。	小中学生	小中義務教育学校 特別支援学校 特別支援教育課	・大判の絵本の配備 ・点字資料やLLブックの資料収集 ・車いすが通れるようスロープの設置	【市立西宮支援学校】 ・古くなった大判の絵本を買い換え、読み聞かせをすることができた。 ・広い展示スペースで、児童生徒はゆったりと本にふれあうことができた。
11	多様な技法を用いた読書への誘い	市立図書館と連携して、ブックトーク、アニメーション、読書クイズなど、読書の楽しみや喜びを実感できる多様な技法を授業に取り入れ、読書意欲を高める。	小中学生 高校生	小中義務教育学校 特別支援学校 市立高等学校 教育研修課 読書振興課	・市立図書館司書によるブックトーク等を授業に取り入れる。 ・「中学生図書委員の集い」の講師に市立図書館司書を迎え、ワークショップを開催する。 ・「小学生のふれあい読書会」への参観呼びかけ  ・子供たちの読書体験を深めるような機会を提供するために、教科指導等相談事業(学校図書館活動等)の実施を支援 ・動画を活用した本の紹介  ・学校の授業におけるブックトークの実施 ・「中学校図書委員のつどい」等に参加し、本の紹介・ワークショップ・POP作りを行う。 ・アニメーション実施の検討	・市立図書館司書によるブックトーク等を開催    ・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)による講師派遣回数:6回  ・訪問による読書支援:3回 (小中義務教育学校にてブックトークを実施)
12	学校図書館の充実	市立図書館と連携して、学校図書館資料の充実を図る。	高校生	市立高等学校 教育研修課 読書振興課	・市立図書館の公用貸出を利用する。  ・公用貸出票の集約、配送手配による支援  ・公用貸出により、学校で利用する図書館資料の充実を図る。	・西宮高校にて2回利用  ・公用貸出票の集約、配送手配による支援  ・市立西宮高校への公用貸出:2回 135冊
13	チャレンジ研修 専門課題研修	幼児教育、小学校関係者を対象とした読書活動に係る研修会を開催する。	保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の教職員、児童館・地域型保育施設職員等	子育て総合センター 教育研修課	・講師を招聘し、絵本の良さや読み聞かせ、絵本との出会いによる子供の育ち等についての研修を開催  ・学校司書研修会の開催 ・学校図書館担当者会の開催	・10月21日開催、参加人数…44人 ・研修内容…絵本の読み聞かせにおける言葉の獲得や心の育ちなど、理論や実践を交えながら講師より学ぶ。  ・第1回学校司書研修会:4月5日 ・学校図書館担当者会兼学校司書研修会の開催(5月9日) ・第3回学校司書研修会(8月29日)

3 地域(市立図書館等)における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
1	市立図書館等における絵本の読み聞かせ	市立図書館、児童館等で読み聞かせなどを行い、地域で絵本に親しむ機会を作る。	乳幼児	読書振興課	・市立図書館・分室において、定例のおはなし会と季節に応じたおはなし会を開催 ・おはなしボランティアを派遣し、関係機関における行事等(おはなし会)の開催を支援	・図書館内おはなし会の開催 中央・北部・鳴尾・北口の図書館 開催回数:340回、参加者数:3,696人 ・図書館外おはなし会へのボランティア派遣 開催回数:75回、参加者数:1,217人 ・西宮スポーツセンターと連携し、イベントやスポーツ教室に司書を派遣しおはなし会と出張貸出を実施 イベントでのおはなし会・出張貸出 7回 スポーツ教室でのおはなし会 17回
				児童館・児童センター	・ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施	ボランティアや児童館職員による絵本の読み聞かせを実施した。
2	「読んでごらんおもしろいよ」の配布(再掲)	(再掲)	乳幼児 小中学生	読書振興課	(再掲)	(再掲)
				幼稚園		
				小中義務教育学校		
				特別支援学校		
3	課題解決のための支援口	調べる学習講座や利用講座の開催、資料の充実により、課題解決の支援を行う。	小中学生	読書振興課	・図書館を使った調べる学習講座を開催する。 ・図書館の利用講座を開催する。	中学生から大学生を対象にした「図書館の魅力アップ・サポート隊」事業において、図書館のお仕事体験などを実施 参加人数:延べ42人
4	読書履歴の作成	小学生以下の子供も、市立図書館ホームページ内に読書履歴を記録できるシステムを整備する。	小中学生	読書振興課	・平成31年4月から、小学生以下の子供の読書履歴を記録できるようにパスワードの発行を開始。積極的な広報活動を検討。	・パスワード発行者数 小学生(7~12歳):1,128件 中学生(13~15歳): 252件
5	外国語資料などの充実口	外国語で書かれた絵本や多読資料の収集に努める。 また、来日した外国人が日本語を学ぶための資料の収集にも努める。	小中学生	読書振興課	・多言語の絵本の購入 ・外国人が日本語を学ぶための資料の購入	・英語、中国語、韓国語等の絵本を購入:134冊 ・日本語を学ぶための辞書や辞典、会話表現、「こんにちは、にほんご」等の資料を収集 ・多読資料:439冊所蔵
6	団体貸出	団体利用を促進して本の貸出を行い、子育て関連機関などの読書環境を充実させる。	小中学生	読書振興課	・子育て関連施設の団体登録を促進し、団体貸出を増やす。	・登録数:85件

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
7	放課後等デイサービスにおける読み聞かせ	放課後等デイサービスにおいて、市立図書館司書やボランティアによる読み聞かせを行う。	小中学生	読書振興課	・放課後等デイサービスの訪問	放課後等デイサービスへおはなしボランティアを派遣：6回
8	「あすなる(なるおきた・みらい・かわらぎ)」との連携	市立図書館司書が「あすなる」を訪問して、本の紹介等を行う。また、図書館見学や本の修理などの活動を通して、本に親しむ機会を提供する。	小中学生	学校保健安全課	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援センター「あすなる なるおきた」</li> <li>・毎朝15分間読書タイムを実施</li> <li>・図書の貸出</li> <li>・市立図書館司書によるブックトーク、団体貸出の実施</li> <li>教育支援センター「あすなる かわらぎ」</li> <li>・図書の貸出</li> <li>・市立図書館司書によるブックトーク、団体貸出の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あすなる なるおきた</li> <li>・ブックトーク1回</li> <li>あすなる かわらぎ</li> <li>・毎月40冊の貸出(毎月入替)</li> </ul>
				地域・学校支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援センター「あすなる みらい」</li> <li>・市立図書館と連携して市民から寄贈された本などで学級文庫を整備し、児童生徒への貸し出しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育支援センター「あすなる みらい」</li> <li>・市立図書館による団体貸し出しの実施</li> <li>・市立図書館司書による訪問4回(年度当初打ち合わせ等、ブックトーク(芸術美術系)、ポップづくり、お気に入りの本の共有)</li> </ul>
				読書振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援センター「あすなる」なるおきた・みらい・かわらぎ訪問、ブックトーク等による支援を行う。</li> <li>・図書館見学</li> <li>・寄贈本、除籍本の提供</li> <li>・読書相談など(生徒、教諭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックトーク みらい1回、なるおきた1回</li> <li>・交流会 みらい 2回(ポップづくり、お気に入りの本の共有)</li> <li>・訪問 みらい1回、かわらぎ 1回、なるおきた1回</li> <li>・団体貸出 みらい：13回・500冊、かわらぎ：9回・360冊</li> </ul>

	事業名	事業内容	対象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
9	障害のある子供への読書活動支援	点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集に努める。 また、西宮養護学校などで、市立図書館司書が読み聞かせを行う。	小中学生	読書振興課	・点訳絵本の作成 ・LLブック等様々な障害に応じた資料の収集と活用法の発信 ・市立西宮支援学校訪問 ・特支学校・特支学級教諭等の相談・支援	・点訳ボランティアによる絵本の作成:6冊
				小中義務教育学校	(市立西宮支援学校) ・特別支援教育センター的機能充実のため、図書整備費の追加配当 ・点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集と活用法の発信	【市立西宮支援学校】 ・大型絵本を新規購入。利用が多いため、使用に堪えなくなった本の買い換えを行うことができた。 ・自ら読書できない児童生徒に対し、個人に応じた本をマンツーマンで読み聞かせることができた。
				特別支援学校		
				特別支援教育課		
10	公用貸出	学校への貸出用に、調べ学習などのテーマに沿った蔵書を充実させ、授業を支援する。 また、配送車の配備など、効率的な活用に向けた研究を行う。	小中学生	読書振興課	・教科書改訂等を考慮し、新規購入・汚損本の買替等を行う。 ・公用貸出の借出・返却の負担を軽減するための配送方法について研究する。	・29テーマ 1333冊
				小中義務教育学校	・市立図書館の公用貸出を利用する。	・市立図書館の公用貸出の利用
				特別支援学校		
				教育研修課	・公用貸出票の集約、配送車手配による支援	・公用貸出表の集約、配送車手配による支援
11	学校図書館の支援	学校図書館に市立図書館司書を派遣して、蔵書・配架・除籍などの助言やブックトークなどを行い、学校図書館運営を支援する。	小中高生	読書振興課	・市立図書館司書が学校図書館を訪問し、学校図書館業務(蔵書管理・調べ学習・読書相談等)を支援する。 また、ブックトークなどによる授業支援を行う。	【小・中学校等】 ・学校訪問 2回(蔵書管理について相談、PTA対象読み聞かせ講座) ・ブックトーク 3回 ・小学校教科研究会(図書館部会)対象修理講座 1回
				小中義務教育学校		
				特別支援学校		
				市立高等学校		
				教育研修課	・学校司書の配置 ・学校図書館教育担当会の開催 ・学校司書研修会の開催	・市内小・中・支援学校に41名の学校司書を配置 ・学校司書の配置 ・学校図書館教育担当会の開催 ・学校司書研修会の開催

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	R5年度	
					取り組み内容	進捗状況・評価等
12	多様な技法を用いた読書への誘い口	ブックトークやビブリオバトルなど、読書の楽しみを実感できる多様な技法を図書館行事などに取り入れ、読書への興味を引出す。また、絵本や文芸作品などの創作活動についての啓発を行う。	高校生	読書振興課	・ビブリオバトルの開催 ・ブックトークの実施	・ビブリオバトル 3回
				市立高等学校	・専任の学校司書を配置	・専任の学校司書を配置
13	子供読書活動推進のための拠点づくり口	本市の子供読書活動の拠点として、市立図書館の児童書や児童コーナーの充実を図る。また、地域での子供読書活動の拠点の在り方についても研究する。	その他	読書振興課	・図書館の先進市の取り組みを視察・研究し、情報収集に努める。 ・西宮浜地域の利用者を対象に、西宮浜義務教育学校の学校図書館を地域開放	西宮浜義務教育学校の学校図書館地域開放を実施 来館者数:2,055人 貸出冊数:5,351冊
14	社会教育関係団体などとの連携口	地域の社会教育関係団体(PTA・青少年愛護協議会・子ども会など)などと連携して、読書活動につながる行事を開催する。	その他	読書振興課	・学校PTA対象の修理講習会の開催	・PTA対象修理講座:11回
15	職員の研修	市立図書館司書などの資質向上のための研修の実施や情報共有に努める。	その他	読書振興課	・図書館職員研修 ・阪神地区図書館協議会研修	・図書館職員研修 障害者サービス担当職員養成講座 3人参加 図書館等職員著作権実務講習会 1人参加 レファレンスサービス研修「科学技術情報の調べ方」1人参加 子どもの読書活動推進事業スキルアップ講座 1人参加 ・阪神地区、近畿地区、兵庫県図書館協議会地区別研修会 5回8人参加
16	ボランティアの育成	市立図書館及び学校図書館のボランティアを育成するために、研修や活動環境の整備を行う。	その他	読書振興課	・ティーンズボランティア活動の実施 ・学校図書館ボランティア対象講座の開催 ・おはなしボランティア研修会の実施 ・ボランティア活動状況の把握	・PTA対象修理講習:11回 ・PTA対象読み聞かせ講習:1回
				小中義務教育学校	・学校図書館ボランティアを組織し、学校図書館運営の充実を図る。	・各校の実態に応じて学校図書館ボランティアを組織
				特別支援学校		